

## 新体制で4カ月が経過

平成27年5月11日の第2回臨時会で、議長、副議長、各委員会が新たな体制でスタートし、約4カ月が経過しました。それぞれの主な活動などをお知らせします。

このたび役員改選におきまして、議長に就任させていただきました。一段と身の引きしまる思いです。新庁舎整備が白紙になった今、喫緊の課題として、耐震補強も含め、両庁舎・振興事務所のあり方・旧下呂温泉病院跡地の活用について議員全員参加の特別委員会を立ち上げました。スピード感を持って、方向性を示していかなければならない大事な年です。現在執行部より庁舎・振興事務所の今後のあり方については、今まで通り「分庁方式」での考え方が示されており、耐震化も含め検討します。振興事務所についても、地元の方々の意見も伺いながら公の施設の見直しも含め検討中です。「市民と議会との懇談会」だけでなく、いろいろな場所で皆さんの貴重な意見も頂き、開かれた議会としての一翼が担えればと考えています。市民の皆様が、安心して暮せるまち、住んでみたいまちづくりの実現に向け、議会、執行部ともおおいに議論を重ね取り組んでいきます。市民の皆様方の一層のご協力、ご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。

議長 中島 博隆



(仮称)和良金山トンネル貫通式(7月10日)で貫通発破をする中島博隆議長



下呂市青少年市民会議(6月28日)で挨拶をする各務吉則副議長

このたび副議長に就任させていただくことになりました。市民の声が反映される議会を第一に、少子化、人口減少など問題点を見極め、市にとって何が必要なのか優先順位をしっかりと決め、5年10年先を見据えた市民のためのまちづくりを進めていく必要があると思います。下呂市では国の地方創世の推進により「まち・ひと・しごと 創生」に伴う下呂市総合戦略が策定される予定です。下呂市第2次総合計画では、向こう10年間の下呂市のあるべき姿を捉え「人口減少」「行政改革」「地域づくり」3つの重点プロジェクトを強く推進するとしています。市内では住民の危機感の中、自分達の地域は自分達で変えていくんだという動きが活発になっています。行政と議会とで市民の皆様の活動を最大限支援していきたいと思っています。市民の皆様が、安心・安全に暮せるよう、元気な下呂市づくりを目指したいと思います。皆様の一層のご協力、ご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。

副議長 各務 吉則

# 総務教育民生常任委員会

定数 8名 (1名欠員)

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 一木 良一 |
| 副委員長 | 田中 副武 |
| 委員   | 今井 政良 |
| 委員   | 今井 美好 |
| 委員   | 中島 博隆 |
| 委員   | 服部 秀洋 |
| 委員   | 中島 新吾 |

## 活動方針

地域にとつて、少子化・人口減少問題は、その存続に関わるほどの大きな社会問題となつています。早急に効果のある対策が必要です。医療・福祉・教育・子育てなどのソフト面から、移住定住促進、街づくりなど地域の形態を構成するハード面まで、あらゆる政策を総合的に連携させ、進めていかねばならない事案です。先進地の成功事例などの調査を通じて、下呂市に合った最も効果的な方法を研究し確立してまいります。

## 主な活動計画

- ① 少子化対策に関わる調査研究（子育て支援、出生率、小中学校児童生徒数の減少）
- ② 移住定住促進に対する調査研究
- ③ 再生可能エネルギーについて調査研究
- ④ 地域包括支援における認知症対策についての調査研究



総務教育民生常任委員会(6月22日)

# 産業経済常任委員会

定数 8名

|      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 今井 政嘉  |
| 副委員長 | 吾郷 孝枝  |
| 委員   | 各務 吉則  |
| 委員   | 山川 博己  |
| 委員   | 伊藤 嚴悟  |
| 委員   | 中島 達也  |
| 委員   | 中野 憲太郎 |
| 委員   | 二村 勝己  |

## 活動方針

地域の活力である産業振興策を研究し、下呂市の持続的な発展の為に産業経済の強化を目指し活動を行います。今年度は、各業界団体と委員会との意見交換を深め、官民一体となった政策立案を行えるようチャレンジしています。また、1次産業×2次産業×3次産業の6次産業と言われている取り組みを強化し、更には恵まれた自然環境を最大限に活かした産業の創造に主眼をおき、先進地視察などを行い、今後の下呂市づくりのため研鑽を積んでまいります。下呂市には新規就農の農家も増えて

## 主な活動計画

- います。人口減少や移住者対策としての産業経済の振興にも取り組んでまいります。
- ① 岐阜県農林事務所・土木事務所との意見交換会
  - ② 各業界団体との意見交換会
  - ③ 災害復旧現場視察
  - ④ 先進地視察



下呂市観光協会連絡協議会・下呂市商工会連絡協議会との交換会(7月16日)

# GERO CITY assembly

## 監査委員

議員選出  
今井 美好

## 議会運営委員会

定数 7名

委員長 中野 憲太郎  
副委員長 中島 新吾  
委員 今井 政嘉  
委員 伊藤 厳悟  
委員 一木 良一  
委員 服部 秀洋  
委員 中島 達也

## 予算特別委員会

定数 15名  
(1名欠員)

委員長 山川 博己  
副委員長 今井 政良  
委員 議長を除く全員

## 決算特別委員会

定数 15名  
(1名欠員)

委員長 服部 秀洋  
副委員長 田中 副武  
委員 議長を除く全員

## 飛騨農業 共済議員

議員名  
中島 博隆  
伊藤 厳悟



## 議会改革特別委員会

定数 15名  
(1名欠員)

委員長 中島 達也  
副委員長 服部 秀洋  
委員 議長を除く全員

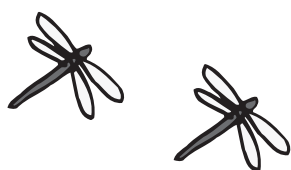
### 活動方針

当委員会は5年前「市民の負託に応えられる議会活動の実現を図る」ことを目的に設置されました。その活動の一つに「市民と議会との懇談会」がありますが、昨年は「庁舎整備」「若者が市政と議会に望むこと」にテーマを絞って開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。また議会改革の先進地で研修を行い、議会基本条例やIT化についても検討を始めようとしております。また来年の議会議員選挙を前に、議員定数や議員報酬の検討は避けられないことから、今年度より当委員会の定数を5名から議長を除く全員とし、重要課題に全員で取り組んでまいります。さらには、よりよい「市民と議会との懇談会」開催にむけて小委員会を設置し、形骸化しないように進めてまいります。当委員会は他の委員会と違い執行部の



市民と議会との懇談会(平成26年9月)

出席はありません。将来の政策決定のストーリーに不可欠な議員間討議により進めてまいります。



# 庁舎・振興事務所整備、 旧下呂温泉病院跡地活用 検討特別委員会

|      |               |
|------|---------------|
| 定数   | 15名<br>(1名欠員) |
| 委員長  | 伊藤 厳悟         |
| 副委員長 | 今井 政良         |
| 委員   | 議長を除く全員       |

## 活動方針

庁舎の一本化を図る「下呂市役所の位置を定める条例」が白紙となり、執行部より今後の庁舎整備方針の説明がされました。現行の分庁方式を維持し①下呂庁舎と星雲会館の耐震化②萩原庁舎と星雲会館の機能統合③農林部と建設部を下呂総合庁舎に移転④将来の庁舎整備に備えて基金の積み立てを行う。

振興事務所については①小坂振興事務所を取り壊し同地に建築②馬瀬振興事務所は他の公共施設に移転。また、旧下呂温泉病院跡地利用についての検討も進めるとの方針が提示されました。当委員会では、この整備方針と併せて旧下呂温泉病院跡地利用についての検



建築から49年経つ下呂市役所下呂庁舎

討を進めていきます。昨年9月に開催した「市民と議会との懇談会」で市民の皆様からいただいた意見や、各種団体からの意見を参考にし、執行部との議論を重ね、皆様の期待に応えられるよう庁舎・振興事務所整備、旧下呂温泉病院跡地の有効活用に取り組んでまいります。

# 濃飛横断道・リニア特別委員会

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 定数   | 5名                      |
| 委員長  | 二村 勝己                   |
| 副委員長 | 田中 副武                   |
| 委員   | 今井 美好<br>伊藤 厳悟<br>中島 達也 |

## 活動方針

濃飛横断自動車道は、郡上市八幡町から中津川市間約80km、その内郡上市八幡町から下呂市保井戸間は約25kmであり、平成24年7月には金山下呂区間5.1km(ささゆりトンネルを含む)が暫定供用されました。

リニア中央新幹線については、中間駅として中津川市美乃坂本駅が決定し、2027年の開業に向けて本格的に事業着手されます。また、今年3月には北陸新幹線も開通しました。濃飛横断自動車道については、和良・金山間のトンネル工事が順調に進み、7月10日には貫通式が行われ、平成28年3月に下呂和良間が供用開始予定です。その後の計画については不透明なところもあり、当委員会では、



濃飛横断自動車道(仮称)和良金山トンネル貫通式(7月10日)  
貫通点に樽神輿が入場

中津川市、郡上市両議会と連携強化を図りながら関係機関に働きかけ、早期完成を目指すため活動してまいります。